

一般会計の自主財源と依存財源

区 分		決算額（万円）	歳入に占める割合（％）	対前年度増減率（％）
自主財源	町 税	24億616	16.4	3.5
	うち町民税	11億1,818	7.6	17.4
	うち固定資産税	10億4,572	7.1	△6.9
	うち町たばこ税	1億9,067	1.3	△3.9
	分担金および負担金	3,682	0.3	47.2
	使用料および手数料	2億5,136	1.7	△2.8
	寄附金	4億4,871	3.1	△87.2
	その他の自主財源	20億8,557	14.2	△36.0
	自主財源計	52億2,862	35.7	△44.1
	地方交付税	62億7,525	42.8	4.2
依存財源	国庫支出金	12億7,742	8.7	△19.3
	道支出金	7億3,658	5.0	△4.7
	町債	3億2,410	2.2	△71.3
	その他の依存財源	8億2,505	5.6	10.1
	依存財源計	94億3,840	64.3	△8.0
歳入合計		146億6,702	100.0	△25.2

※歳入全体の自主財源の占める割合は、35.7%と低く、依存財源である地方交付税が42.8%を占めています。地方交付税に依存した財政構造となっています。

一般会計性質別歳出の状況

区 分		決算額（万円）	歳出に占める割合（％）	対前年度増減率（％）
消費的経費		94億1,484	66.8	△2.3
	人件費	26億6,504	18.9	17.1
	その他の消費的経費	67億4,980	47.9	△8.3
投資的経費		6億8,754	4.9	△73.3
その他		39億8,280	28.3	△43.0
	公債費	14億8,295	10.5	10.7
	その他	24億9,985	17.8	△55.7
歳出合計		140億8,518	100.0	△26.6

※その他の消費的経費は、建物の維持管理費や補助金、給付金などです。
 ※投資的経費は、道路の改良、建物の改修や災害復旧などの公共事業です。
 ※公債費は、町債（借金）返済の経費です。

財政状況はどうなっているの？



令和7年度の健全化判断比率が公表されました

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
八雲町の比率	—	—	8.2%	—
早期健全化基準	13.61%	18.61%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	

公営企業の資金不足比率

	水道会計	熊石簡易水道会計	下水道会計	農業集排会計	病院会計	経営健全化基準
資金不足比率	—	—	—	—	—	20.0%

◎実質赤字比率～一般会計の財政状況の悪化の度合いを表す数値です。八雲町の一般会計は黒字となっています。
 ◎連結実質赤字比率～全会計の財政状況の悪化の度合いを表す数値です。八雲町の全会計の合計は黒字となっています。
 ◎実質公債費比率～借金の償還額から、資金繰りの程度を表す数値です。
 ◎将来負担比率～一般会計の将来支払いが必要となる借金などから、財政を圧迫する可能性の度合いを表す数値です。八雲町の一般会計は比率が発生していません。
 ◎資金不足比率～経営状況の悪化の度合いを表す数値です。八雲町の企業会計は資金不足が発生していません。
 ※八雲町は、全ての比率で国が示す「健全化基準」を下回っていますので、財政状況には問題はありません。しかし、将来の投資状況によってはこれらの数値が上昇しますので、今後とも健全化に向けた努力が必要です。